



群馬県がん患者団体連絡協議会 ニュースレター♪

2017年10月
第63号

編集・発行/公益財団法人群馬県健康づくり財団

秋の行事報告を中心に お届けします...

- 1 リレー・フォー・ライフ・ジャパン
2017 ぐんま 実施報告
- 2 がん征圧共同キャンペーン
- 3 当協議会が平成29年度保健
事業等功労者知事表彰を受
賞します

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 ぐんま 開催しました！

2017.10.7～10.8

群馬県内では第5回目の開催となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 ぐんま(以下「RFL」と言います。)が平成29年10月7日(土)～8日(日)、ALSOKぐんま総合スポーツセンターで行われました。

前日(6日)は午後から雨が降りしきり、会場準備をしながら天気予報を確かめ、雨の場合の対応策を考えました。今年も奇跡の晴天は、やってくるのか?と思いながら公式ホームページには、「雨が予想されますので、雨具や濡れにくい靴をご用意ください」と記しました。

多くの方から、「私、晴れ女です!」「私、晴れ男なので、絶対大丈夫です。」との力強い励ましの言葉やメールが届きました。明日の天気はいかに?!

←参加者の声援に手を振ってこたえるがん連協のみなさん。笑顔が素敵です。

..... 今年も晴れました!!

サバイバズラップ、各会の交流、エンピティテーブル

多くの方々の願いが届き、RFL当日は暑いほどの陽射しでした。

今回、当協議会から、あけぼの群馬、伊勢崎ひまわりの会、1. 2の3で温泉に入る会ぐんま、笑みの会、群馬あかぎ互療会、ひまわりの会、生菜の会、みゆらりっぷ、群馬がん看護研究会がチーム参加しました。

大島実行委員長の開会宣言の後、リレー・ウォークの栄えある最初の1周目であるサバイバズラップが行われました。会場の拍手に迎えられ、ウォークがスタートしました。

各チームそれぞれの思いをつなぎ、ステージからの司会の呼びかけに元気良く応えてくれました。

今年は、当協議会の皆さんで使える TENT を2張用意し、チャリティーグッズの販売や、それぞれの交流を深めていただきました。

みなさん、楽しく歩いてくださいね。

(セラビートックも応援してます)



76チーム、2日間で延べ7,800人が参加しました!

がん連協の皆さん
各チームごとにスタートしました。



工夫を凝らした各テント
訪れた人も和みます

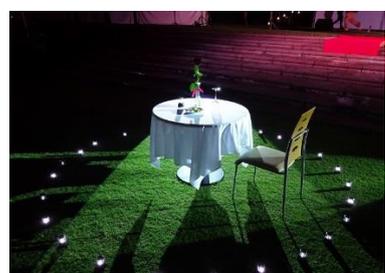


写真
(上)ベストテント賞に選ばれた、
みゆらりっぷのがんカフェ
(下)エンプティータブル

サバイバーズテントは1. 2の3で温泉に入る会ぐんまの皆さんを中心に運営され、個人参加のサバイバーや常連の方々、リレー・ウォークをつなぐ参加者のおもてなしをしてくれました。手作りの小物をチャリティー販売するあけぼの群馬の皆さん、生菜の会・笑みの会のテントでもチャリティーが行われ、ひまわりの会から手作りの紫のコースターの寄付がありました。伊勢崎ひまわりの会の皆さんは市民病院と交流を深め、群馬あかぎ互療会の大島会長と、がん看護研究会の狩野先生はキッズコーナーや学生ボランティアの活動をしながら、会場中を巡ってくれました。がん連協に所属するピアサポーターの皆さんもサロンでサバイバーの方々とお話されていました。

みゆらりっぷチームの皆さんは、かわいい窓やドアのある素敵な交流テント「がんカフェ」を設営。サバイバーに勇気を与え、訪れたみんなを楽しませてくれたことを讃え、翌日の閉会式ではサバイバー実行委員による特別表彰「ベストテント賞」が贈られました。

夕方になると、足元を照らすルミナリエが灯されました。ひとつずつに思い思いのメッセージが描かれ、気持ちが伝わります。

エンプティータブルが厳かに始まりました。これまで私たちと一緒にがん連協の活動を共にし、監事としていつも笑顔で支えてくれた、1. 2の3で温泉に入る会ぐんまの佐藤さんに向けた詩が朗読されました。

夜もリレーをつなぐチームや語り合う仲間たち・・・特別な時間を過ごし、朝を迎えました。



写真
(上)間もなく夜明けです。
(下)特別表彰。みゆらりっぷの
皆さん、おめでとうございます。



♪2日目も好天に恵られました♪

気持ちよい空気の中、たくさんの参加者が午前6時半からのラジオ体操に参加し、2日目スタートしました。

2日目は、閉会まであつという間で、RFL実行委員を務める当協議会の役員が集合し、サバイバー実行委員が選ぶ特別表彰について話し合いました。今年から、参加者の皆さんに無理なく楽しくリレーウォークに参加していただけるよう24時間完歩賞は廃止し、これにかわり特別表彰が行われたものです。受賞された方々は次のとおりです。

- ◇ スーパーウーマン賞 前橋協立病院 看護師 青木さん
- ◇ ベストテント賞 みゆらりっぷ チームの皆さん
- ◇ 健脚サバイバー賞 サバイバー 石井さん
- ◇ 大きくなったで賞 阿久沢さんとお孫さんの、あのんちゃん

受賞者の皆さんには、大島実行委員長から記念品が贈呈されました。

♪RFL また来年お会いしましょう♪

群馬県では5回目となる今回のRFLでしたが、今後、ますますの拡がりが期待されます。

事前に行われたチームリーダーミーティングでは、それぞれのチームが参加にあたり、意気込みや思いのたけを話してくれました。ある病院の方は「チーム参加したくて上司にお願いし、病院のみんなで参加することができました」とのこと。夜も参加者に温かい食べ物を提供できるよう従業員に参加を募ったところ、夜中も行けますと3人も手を挙げてくれたという出店業者さん。将来医療従事者を志しているの、参加してボランティア活動やステージ出演で応援したいという学生の皆さん。毎年趣旨に賛同して参加して下さる企業や団体、個人の皆さんにご協力いただきました。

がんに強いぐんま、がんになっても安心して暮らせるぐんまを目指し、当協議会も皆さんと一緒に前に進んでいきたいと思えます。



参加者全員で記念写真を撮りました。
来年もこの場所で会いましょう。

☆がん征圧共同キャンペーン実施しました☆

台風21号が接近中の10月21日(土)恒例の第11回ハワイアンinグリーンドーム1000人フラ会場において、がん検診受診促進のための共同キャンペーンが行われました。みのり感謝祭も同時開催され、あいにくの雨模様で来場者は少な目の印象でしたが、がん連協のティッシュやリーフレットを配布しました。乳がんモデルの展示には女性やご家族が訪れ、自己検診について説明を受けました。ピンクリボンタイムには、健康づくり財団職員が「検診を受けに行こう!」と歌と踊りでPRしました。



ひまわりの会の皆さんや群馬ホスピスケア研究会の皆さんも参加。あけぼの群馬の本田会長にはPRタイムで応援してもらいました。

群馬県がん患者団体連絡協議会

平成29年度保健事業等功労者知事表彰を受賞しました

この度、当協議会が健康増進(がん予防・がん対策推進)部門で知事表彰を受賞することになりました。発足してから10年が経過し、その間の活動が認められ、受賞に至りました。

当協議会の足跡と表彰式の様子は次号でお知らせいたします。

編集後記

リレー・フォー・ライフの準備が佳境になった頃、群馬県から当協議会が保健事業等功労者知事表彰を受賞するというお知らせをいただきました。発足して10年が経ち、様々な出来事や活動が思い出されます。ネットで情報を得たり、交流できる環境になりましたが、それでもこうして時々会い、話をすることで安心したり、元気が出たりするものだと感じます。これからも次のステップに向け、皆さんと取り組んでいきたいと思えます。

事務局：〒371-0005 前橋市堀之下町16-1 (公財)群馬県健康づくり財団 企画広報課内 電話027-269-7403